



# NEWS

創刊号 Autumn 1992-10

1973年、ガステックは日本で初めて、検知管式ガス測定器の環境測定法テキスト<ブルーブック>を発行しました。以来、約20年間、ブルーブックはじつに多くの方々にご利用いただくとともに、高い評価をいただいております。そして第6版の発行から約7年を経た今、ガステックはブルーブック発行20年の集大成として、さらに高い理想を求めた「新ハンドブック<気体環境測定>」を完成させました。

今、地球サイズで環境問題が叫ばれ、一方、個人レベルでも快適性への関心が高まっています。また、労働安全や衛生管理にも、さらに厳しい目が向けられています。ガステックでは、こうした流れの中で、より高い視点から環境測定を広く捉えた「新ハンドブック」に着手。“分かりやすさ、見やすさ、使いやすさ”をテーマに、ユーザーの方ももちろん、広く気体環境に興味を持たれている方も利用できる“環境測定ガイド”の編集に取り組みました。

新ハンドブックの特徴は右記の通りですが、その内容は、初心者から専門家の方まで、また製造

お待たせしました。  
新ハンドブック、誕生です。

現場から研究・開発に携わる方々まで、理論と実践の両面にわたってお役立ていただける充実したものです。

つきましては、ガステックではこの新ハンドブックを10月に刊行。環境測定ガイドとして、ぜひ身近でお役立てください。

## 新ハンドブックの 5 大特徴

- 1 検知管およびガスの個別解説から、測定方法、法令、さらには測定結果に疑問を感じた場合の原因と対策などまで、A5判・約490ページに及ぶ充実した情報量。
- 2 検知管式のガス測定に関わる初歩から専門知識までを、平易な文章で解説。
- 3 全編を通じて、写真やイラスト、図などをふんだんに使用し、親しみやすく誌面を構成。
- 4 検知管およびガスの性質については充実した索引(アイウエオ順、検知管No.順、アルファベット順、別名順)で、どの角度からでも検索が可能。
- 5 5つの大項目(前付、検知管編、ガス編、法令編、索引)は紙色を変え、さらに中項目には爪見出しを付けるなど、機能性を大幅にアップ。



# 新技術紹介

## 君津式表層汚染調査法

近年、ドライクリーニングや部品洗浄をはじめ、さまざまな工場で利用されている塩素系有機溶剤。その漏洩や地層への浸透により、周辺の地下が広範に汚染され、大きな社会問題となっています。

特にトリクロロエチレンやテトラクロロエチレンなどの汚染物質は、いったん地下に侵入すると地層構成物質と結合、吸着、溶解、あるいは変成などを繰り返し、複雑な地質汚染(地層・地下水・地下空気汚染)を引き起こします。このため、汚染対策上の基礎調査を行うにも、これまでは高度な知識・技術、さらには大がかりな工事が必要でした。

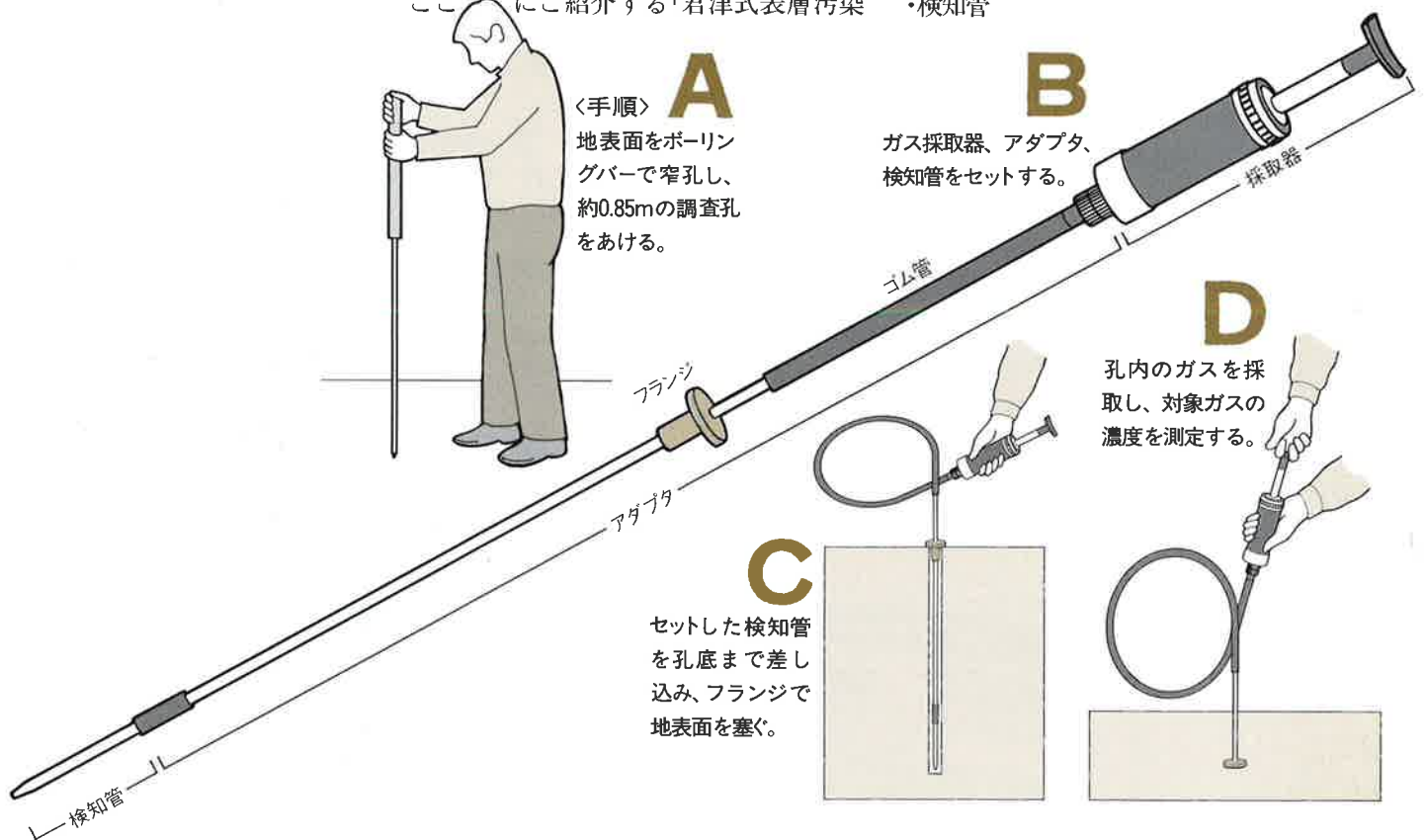
ここにご紹介する「君津式表層汚染

調査法」は、君津市の汚染調査の場で生まれたもので、表層部の汚染物質の濃度をガス検知管を用いて測定することにより、汚染の有無、分布あるいは汚染源の確定など、汚染の概要がじつに簡単に調査できる手法で、現在、その手軽さから全国で採用されつつあります。

使用する器具、および測定手順は以下の通りです。

〈器具〉

- ・人力打撃穿孔器(ボーリングバー/No.361)
- ・ガス採取器(No.800)
- ・調査孔挿入アダプタ(地下浸透用延長採取管/No.360)
- ・検知管



## 伝言板

### 学会情報

当社も、日頃の研究成果を発表する予定です。ぜひご来場ください。

- 第13回作業環境測定研究発表会  
期間/11月11・12日  
場所/ワークピア横浜(関内)  
※展示会も併設しております。  
お問い合わせ先-TEL.03(3456)5851

- 第32回日本労働衛生工学会  
期間/11月12・13日  
場所/ワークピア横浜(関内)  
※展示会も併設しております。  
お問い合わせ先-TEL.045(681)8151
- 第2回環境地質シンポジウム  
(日本地質学会環境地質研究委員会)  
期間/11月23・24日  
場所/北とぴあ(東京・王子)  
お問い合わせ先-TEL.03(3252)7242

# 新製品紹介

## 悪臭物質簡易測定セット

(AGS-1)

悪臭防止法に基づく悪臭物質の測定方法の中から、環境庁はアンモニア、硫化水素、スチレンについては公定法を補完する目的で、検知管法を用いた簡易測定法を確立。平成2年4月26日から、環境庁通達で実施しています。

ここにご紹介する悪臭物質簡易測定セットは、その環境庁基準に適合。用途も、地方公共団体の各市町村での悪臭苦情発生時のデータ収集をはじめ、悪臭物質の排出実体や改善状況の把握、さらには事業所での自主測定など、発生から改善まで多岐におよんでいます。

主な特徴と仕様は以下の通りです。

### 特徴

- ①検知管は専用が開発。濃度目盛を印刷した直読式。
- ②臭気強度2.5～3.5の範囲を測定。
- ③測定精度は、JIS K 0804の基準に適合。
- ④公定法の5分間サンプリングに、内蔵タイマーで自動対応。
- ⑤小型のアルミケース一体型で、保管、携行、現場測定が容易。
- ⑥電源が乾電池のため、測定場所を選びません。
- ⑦マスフローセンサー搭載で、流量測定が正確。



### 悪臭物質専用検知管の仕様

対象ガス	No.3Sアンモニア	No.4S硫化水素	No.124Sスチレン
測定範囲	0.5～5.0ppm	10～200ppb	0.2～4.0ppm

### 自動試料ガス採取装置(AGS-1)の仕様

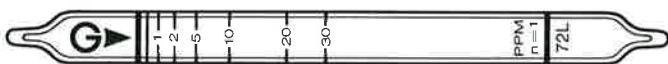
ポンプの種類/直流ダイヤフラムポンプ  
 通気流量/120～240ml/min  
 積算通気量/600～1200ml  
 電源/単一乾電池6本  
 寸法・重量/380(W)×235(D)×350(H)mm、9kg

## 検知管

### 短時間用検知管

No.72L エチルメルカプタン

目盛範囲：0.5～30ppm 測定範囲：0.2～75ppm



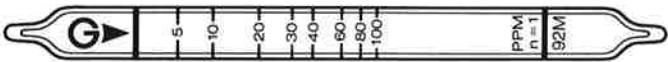
No.111LL メタノール

目盛範囲：2～20ppm 測定範囲：2～56ppm



No.92M アセトアルデヒド

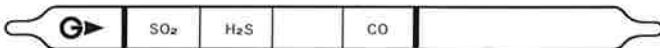
目盛範囲：5～100ppm 測定範囲：2.5～100ppm



No.25ポリテックII(未知ガス定性用検知管)

管内に3種類の検知層を設け、各層の反応色によって、測定環境下に存在する複数のガスを同時に特定する検知管です。

検知対象ガス	二酸化イオウ	硫化水素	一酸化炭素
検知限度	0.5ppm	5ppm	2ppm

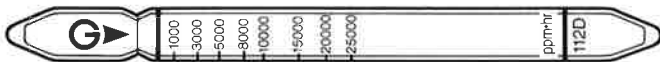


※短時間用検知管は、No.800/No.850ガス採取器との組合せで使用します。

### 長時間用検知管(パッシブ・ドジチューブ)

No.112D エタノール

目盛範囲：1000～25000ppm・hr 測定範囲：100～25000ppm



※ガス採取器を用いず、ガスの自然拡散で1～10時間の平均暴露濃度を測定します。

### 展示会情報

以下の展示会には、当社も出展しております。ご来場の際は当社ブースにもお立ち寄りください。

#### ’92分析機器展

期間/10月13～16日

場所/幕張メッセ(千葉)

お問い合わせ先-TEL.043(296)0001

#### ●第29回全国建災防大会

期間/10月14日

場所/広島厚生年金会館(広島)

お問い合わせ先-TEL.082(243)8881

#### ●’92緑十字展

期間/10月28～30日

場所/マイドームおおさか(中央区)

※全国産業安全衛生大会同時開催

お問い合わせ先-TEL.03(3442)8291

#### ●第21回全国環境対策機器展

期間/12月1～3日

場所/大阪国際交流センター(天王寺区)

※第33回大気汚染学会同時開催

お問い合わせ先-TEL.03(3404)5714





## 創刊にあたって

初版「ブルーブック」の発行から20年。その集大成といえる『新ハンドブック』の完成を機会に、本紙を定期的にお届けすることとなりました。

日本や世界の状況が転換期の混乱にある中で、政治・経済状況は楽観を許しません。この大きな景気変動期は、製造業がまた新たに見直される好機なのではないでしょうか。微力ながら、弊社もその技術にますます磨きをかけ、皆さま方のお役に立つ存在感のある企業として、さらなる成長をしていきたいと思っております。これからも、本紙ともども可愛がっていただきますようお願いいたします。

代表取締役 庄野京一

## 会社紹介

著しい技術革新により、目ざましい発展を続ける産業界。反面、生産工程における多種多様な有害ガスの出現は、労働環境・工程管理などの保全面に、大きな問題を投げかけました。

そうした状況のもと、「すべての方々安心して働ける環境づくり」を目指して設立されたのがガステックです。以来、経営理念に「安全と成長」を掲げ、簡易測定技術に専心することで安全な環境づくりの一端を担い、企業としての基盤を確立してきました。

我が国初の直読式(目盛付)検知管の開発をはじめ、ケミカルセンサの分野でも各種警報器や測定器を製品化するなど、時代の要請に合わせた技術開発を進めてきました。地球的規模で安全への希求が高まる中、今後も高感度で測定精度の高い製品の開発はもとより、単体から複合機器への研究・開発に力を注ぎ、さらなる「安全と成長」への挑戦を続け、皆さまのお役に立ちたいと考えています。

### ■会社概要

名称/株式会社ガステック GASTEC CORPORATION

設立/昭和45年9月1日

所在地/本社・工場 〒252 神奈川県綾瀬市深谷6431

Tel.0467(79)3900 Fax.0467(79)3978

大阪営業所 〒532 大阪市淀川区宮原2-14-8

Tel.06(396)1041 Fax.06(396)1043

九州営業所 〒803 北九州市小倉北区金鶏町9-27

Tel.093(652)6665 Fax.093(652)6696

資本金/6,000万円

代表者/代表取締役 庄野京一

従業員数/130名

### ■沿革

昭和45年9月 資本金1,000万円にて、横浜市港北区に設立

昭和49年9月 当社検知管が米国国家検定に合格

昭和50年3月 資本金1,500万円に増資

昭和53年3月 資本金3,000万円に増資

昭和55年5月 一酸化炭素用センサのガス事業への功績により、(社)日本瓦斯協会より太田賞受賞

昭和55年10月 大阪営業所開設

昭和56年11月 九州営業所開設

平成元年9月 現在地に新社屋建設・移転

平成元年10月 資本金6,000万円に増資

平成3年11月 吸着技術を応用したガス測定の功績により、日本吸着学会技術賞受賞

### ■事業内容

1. 公害防止・安全衛生・工程管理・研究・医療・教育用機械器具の製造・販売

2. 前記機械器具の輸入・販売

### ■取扱製品

直読式ガス検知管(約420種)、酸素計・警報器、一酸化炭素検知警報器、可燃性ガス検知警報器、各種毒性ガス検知警報器、複合形ガス検知警報器、校正用ガス調製装置、特殊材料ガス用ガスクロマトグラフ、その他

### ■加入団体 五十音順

建設業労働災害防止協会/産業用ガス検知警報器工業会/ (社)臭気対策研究協会/(社)大気汚染研究協会/中央労働災害防止協会/日本吸着学会/日本作業環境測定協会/(社)日本産業衛生学会/日本地質学会/(社)日本分析機器工業会/(社)日本保安用品協会/(社)日本理科教育振興協会/労働衛生工学会 他

ガステックニュース Vol.1

1992. 秋

発行日/平成4年10月20日(季刊)

発行/株式会社ガステック

編集/ガステックニュース編集部

〒252 神奈川県綾瀬市深谷6431

TEL.0467(79)3911 FAX.0467(79)3979

制作/株式会社FMクリエイト

### ●編集スタッフからのお願い

各方面よりの情報、およびご意見・ご要望・ご質問などをお待ちしています。なお、当ニュースは製品・技術情報紙ですので、ぜひご保存ください。また、定期送付をご希望の方は、FAX.などでお申しつけください。次回発行は平成5年1月の予定です。

編集スタッフ

責任者/大塚俊雄

委員/浅井保義、土屋忠一、青山 透、  
桜井 満、若山雅彦、小口博史、  
引田 宏、内村くみ子

あらゆる気体の測定に



株式会社ガステック

SINCE 1970

営業本部: 〒252 神奈川県綾瀬市深谷6431

電話 0467(79)3911(代) Fax.0467(79)3979

大阪営業所: 〒532 大阪市淀川区宮原2-14-8 宮原ビル

電話 06(396)1041 Fax.06(396)1043

九州営業所: 〒803 北九州市小倉北区金鶏町9-27 第一岡部ビル

電話 093(652)6665 Fax.093(652)6696

※ガステックニュースの用紙は、再生紙を利用しています。